

## 山岳事故に備え、技術の向上を図る

7/24

### 川根北・南分遣所職員が山岳救助合同訓練を実施

山の行楽期を前に、隊員の技術向上を目的とした山岳救助訓練が町道水川藤川線と萬世橋歩道橋で行われ、渡辺順弘金谷消防署長をはじめ川根北・南分遣所職員27人が参加しました。

訓練は、滑落と宙ぶりの2種類の事故を想定して実施。町道沿いの斜面の下や萬世橋歩道橋から宙ぶりにされた要救助者に見立てた人形を、職員らはロープや救助用担架を駆使して助け出しました。訓練終了後、渡辺署長は「今後も鍛錬を続け、事故に備えてほしい」と職員らに向けて訓示を述べました。



橋の欄干から7m下で宙ぶりの状態を想定した救出訓練

7/14

## たいまつを奉納して無災害を祈願

### 町指定無形民俗文化財「平谷の流したい」が今年も行われました



中川根南部小の児童らも「ミニたい」を作り奉納しました

大井川が氾濫しないように祈願する瀬平地区の伝統行事「平谷の流したい」が行われ、佐藤町長や杉山教育長をはじめ、地区住民と中川根南部小の4年生ら約80人が参加しました。

地区住民らは材料を持ち寄り、麦わらを束ねて作った直径3mほどの台座の上に青竹のたいまつを乗せて、大井川に流して奉納しました。

瀬平区原田達朗区長は「今参加している子どもたちが親になったとき、またそれぞれの子どもたちへと伝統を受け継いでいってもらえたら」と期待を込めて話しました。

## 地域に貢献し、愛着を深める

7/29

### 川根地区中高一貫教育として「川根の郷美化作戦」を実施

平成14年から続けられている夏休みの恒例行事「川根の郷美化作戦」が実施されました。

川根地区の3中学校と川根高校の441人が参加対象でしたが、あいにくの雨により下長尾八幡神社・水川と地名の地域振興センターの町内3カ所に割り当てられた生徒のみ活動しました。

生徒らは、地域住民の手ほどきを受けながら清掃活動に汗を流しました。

美化作戦の指揮を執った川根高校の嶋副校長は「地域の美化活動に貢献することで地域を愛する心が育まれる」と活動の意義を語りました。



熱心に清掃活動に取り組む生徒(写真は下長尾八幡神社)

## 「人とのふれあい、大切にしたい」

7/19

本川根小で中村ブンさんの教育講演会が開かれました

シンガー・ソングライター中村ブンさんを招いた教育講演会「ブンのトーク&コンサート・あした元気になーれ」が本川根小で開かれ、同校児童や本川根中の生徒、保護者など約175人が参加しました。

中村さんは幼少時代の体験を題材にしたオリジナル曲のほか、童謡など全7曲を演奏しました。曲の合間には「お父さん、お母さんはみんなの元気を願っていることを忘れないで」と児童らに優しく語りかけるなど「人とのふれあいの大切さ」について講演しました。



児童らは手拍子をしたり一緒に歌ったりして楽しみました

8/1

## 大自然の中でカヌーを満喫

中部ブロックB & G地域海洋センター連絡協議会のスポーツ交流大会



参加者は往復約1<sup>き</sup>のカヌーツーリングを楽しみました

中部ブロックB & G地域海洋センター連絡協議会主催のスポーツ交流大会が町内各地で行われ、県内と山梨・長野・愛知・三重の4県から指導員と小中学生64人が参加しました。

1日目は指導員による水辺の安全教室や大井川でのレスキュー体験、テント宿泊体験などを行い、2日目は奥大井接岨湖でカヌーや10人乗りのゴム製ボートの乗船体験を行いました。初めてカヌーに乗る子どもたちが多かったものの、パドルの扱い方に慣れてくると、穏やかな湖面を気持ちよさそうに漕ぎ進んでいました。

## 伝統の大数珠に祈りを込めて

7/30

町指定有形文化財の愛宕地蔵堂あたごで「百万遍念仏」を開催

大数珠を車座になって回す伝統行事「百万遍念仏」が、徳山地区の愛宕地蔵堂にて行われ、区民30人が参加しました。

車座になった住民が般若心経を唱えながら、全長約16<sup>寸</sup>・直径3<sup>寸</sup>の玉784個から成る数珠を時計回りに18周回し、無病息災、家内安全、一年の無事などを思い思いに祈願しました。

愛宕地蔵堂世話人会の長濱寛二郎さん(徳山=82歳)は「以前は町内でも盛んに行われていた。貴重なお地蔵さんの祭りとして今後も継承していきたい」と笑顔で話しました。



大数珠を18周回して無事を祈願しました